# 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

## 1 概要

## ドラッグストアを新設する(法第5条第1項)

## 2 届出の内容

2								
届出年月日	令和3年10月19	日						
店舗	店舗名称	(仮称)ドラ	ッグコスモス豊川駅東店					
卢丽	店舗所在地	愛知県豊川	市豊川駅東土地区画整理事業58街区5画地 他					
	名称	株式会社コ	スモス薬品					
設置者	代表者	代表取締役	大横山 英昭					
以 直 石	住所	福岡市博多	区博多駅東二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階					
	その他	なし						
	名称	株式会社コ	k式会社コスモス薬品					
小士士士	代表者	代表取締役	弋表取締役 横山 英昭					
小売業者	住所	福岡市博多	届岡市博多区博多駅東二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階					
	その他	なし						
店舗面積	1,343 m²							
	駐車場	位置	別紙図面のとおり					
		台数	45 台 (指針台数: 45 台)					
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり					
佐記の刑署		台数	39 台					
施設の配置	类如长元	位置	別紙図面のとおり					
	荷捌施設	面積	50 m <sup>2</sup>					
	廃棄物	位置	別紙図面のとおり					
	保管施設	容量	13. 5 m²					
	営業時間	開店	午前9時					
	当未时间 	閉店	午後9時45分					
┃ ┃ 施設の運営	駐車場利用	時間帯	午前8時30分から午後10時まで					
心改の連名 	駐車場出入口	数	2箇所					
	社里场田八口	位置	別紙図面のとおり					
	荷捌時間帯		午前6時から午後10時まで					
新設する日	令和4年6月20日	3						
新設する日	令和4年6月20	<u> </u>						

## 3 参考事項

敷地面積	3,182 m <sup>2</sup>						
建築面積	1,511 m <sup>2</sup>	,511 <b>m</b> <sup>*</sup>					
延床面積	2,990 m <sup>2</sup>	,990 m <sup>2</sup>					
業態	住•生活関連品専門店						
用途地域	第2種住居地域	-	_	_			
備考							

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
	都市計画等について情報収集し、検討します。
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行いません。
(3) 住民説明会の開催	立地法の説明会とは別に、隣接民家へは個別説明を行います。
	設置者と小売業者が同一のため、不要
(5) 責任者の任命	店長が責任者となり、遵守に努めます。
(6) 予測乖離時の措置	関係行政機関と協議のうえ、解決に向けて必要な措置を検討します。
(7) 通年の臨時措置	多客の予想される繁忙時には交通整理員を配置します。
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置します。

- 5 施設の配置及び運営方法に関する事項
  - 1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮
  - (1) 交通に係る事項
  - ア 駐車場の必要台数の確保
  - (ア) 小売店舗の必要駐車台数
  - a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日来客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F S/1000×A×B×C/D	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
186,723人	1,343 m <sup>2</sup>	1,060	14.40%	250 m	70.00%	2.00 人	72 台	0.623	45 台

総駐車場台数	従業員等駐車場台数	業務用駐車場台数	_	搬出入用駐車場台数	_	併設施設駐車場台数	_	来客用駐車場台数	評価
61 台	16台	0台	_	0台	_	0台	_	45 台	0

#### イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	72 台

#### ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

	_	THE STATE OF										
	種	別 1	収容台数 4	45 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	アイドリン	<b>グの禁止</b> 排が	マ配慮 アイドリ	ングの熱	<b>杰上</b>
平		出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
面	東	なし	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	なし	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐	南	なし	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
車	北	2箇所	市町村道	18.2m	あり	30m	-	72	双方向	右左折混合	あり	0
場	場 交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備											

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	0	0	0	0	0

## エ 周辺交通状況の把握

実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)
交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
工 内边入地水池			

#### (ア)交差点需要率等の検討

<u> </u>							
		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
地点1	需要率	0.209	0.247	0	0.237	0.275	0
	将来交通量/可能交通容量	0.353	0.397	0	0.414	0.460	0
交差点	ピーク時間帯	11時台			18時台		

I	地,	点3	現	況	将	来
	(仮称)豊川町波通交差点		平日(10時台)	休日(14時台)	平日(10時台)	休日(14時台)
	南東流入	評価	遅れなし	遅れなし	遅れなし	遅れなし
	北東流入	評価	非常に小	非常に小	非常に小	非常に小
	南西流入	評価	非常に小	非常に小	非常に小	非常に小

区分	駐車場入口	〕:右折入庫	駐車場出口:右折出庫		
四月	平日(18時台)	休日(10時台)	平日(18時台)	休日(10時台)	
評価	遅れなし	遅れなし	非常に小	非常に小	

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

オープン時、繁忙時には、状況に応じて交通整理員を配置します。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	建物1階に1箇所
駐輪場の収容台数	39 台
標準収容台数	39 台

位置評価	台数評価
0	0

カ 自動二輪車の駐車場の確保

_					
	自動二輪車駐車場の確保	<b>难</b> 但	此突台数	5 4	
	日期―無単駐単場の催保	唯体	拟台口奴	J	
	位置及び箇所	建物1階に1箇月	f		
	位直及ひ固所	建物  階に  箇別	(		

位置評価	台数評価
0	0

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

( ) / [-] ]		(1)					
停車位置	専用出入口·通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	50m²	あり	15分	1台	1台	0

(イ)計画的な搬入

\ I / HI I I I I	し リバス ノ ヽ					
搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8:00~9:00 9:00~10:00 12:00~13:00 15:00~16:00 18:00~19:00	1台	17:00~18:00	22:00~23:00	単独テナント	必要なし	0

- ク 経路の設定等
- (ア) 車両関係
- a 来客車関係

<u> </u>	<u> </u>					
案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	-	あり

搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

※非配備の場合等の対応 通学時間帯の搬入をできる限り避けるよう計画します。

 c
 バス・タクシー等交通機関関係

 停車場の確保

 バス・タクシー等の停留所なし

 d
 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

 ペークアンドライド事業等への協力

事業なし

評価 O

(イ) 歩行者通行関係

マリサルコを 多吹の 伊井	· 多么社会协议	明亡後の左眼辺四の訊목
通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価 O

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価 O

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	検討なし	
	+	

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
-	-	

評価 O

- 2 生活環境悪化防止関係
- (1) 騒音発生に係る事項
- ア 騒音問題対応策

#### (ア)一般的対策

	73/2 7 7 7 7 7 7					
	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方面	8 m	8 m	空調用室外機	なし	なし	-
南方面	19 m	なし	車両走行	なし	なし	-
西方面	7 m	なし	空調用室外機	なし	なし	-
北方向	19 m	なし	車両走行	なし	なし	-

#### 遮音壁の影響 **遮音壁設置なし**

#### (イ)営業活動の騒音対策

	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	特になし
荷捌作業運営面での配慮	アイドリング・ストップを徹底する等、騒音防止意識の周知・徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

#### (古) 付書設備及び付書施設等における軽き対等

(ソハ)市政備及の刊市心記	女守におこの 金融 中 刈 木
冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型の機器の導入に努めます。
給排気口等からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	夜間帯における収集作業は行わない計画です。
経年劣化等の事後対策	定常騒音の発生源となる機器については、定期点検を行い異常騒音の発生
性十分化等级外域	防止に努めます。

#### イ 騒音の予測評価

		1 W101 IM										
予	定常騒音	空調機室外機	17	冷却塔		給排気口	25	変電施設	浄化槽	ポンプ		
測	た 市 瀬 日	冷凍機室外機	5	キュービクル	1							
対	変動騒音	自動車走行	0	後進警報ブザー	0	台車走行		BGM	アナウンス			
象	<b>多</b>   別   田   日	ゴミ収集作業	0	アイト゛リンク゛	0							
騒	衝撃騒音	荷降し音	0	台車走行	0							
音												
建物	建物の構造(高さ) <b>鉄骨造2階建(9.6m)</b>											

#### (ア)等価騒音レベル予測

		東(A)	南(B)	西(C)	北(D)
	用途地域	第2種住居地域	第1種住居地域	第2種住居地域	近隣商業地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	60 dB
	夜間基準値	45 dB	45 dB	45 dB	50 dB
≞л	昼間等価騒音レベル	49.3 dB	44.4 dB	47.7 dB	41.4 dB
改	評価	0	0	0	0
設置者	夜間等価騒音レベル	39.6 dB	28.5 dB	28.5 dB	23.2 dB
1	評価	0	0	0	0
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
木	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等 昼間、夜間ともに全ての地点で等価騒音レベルが環境基準を下回ります。したがって、周辺住宅への著しい 影響は無いものと考えます。なお、周辺住民より苦情があった場合は真摯に対応いたします。

## (イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無 B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か

上記A·Bの具体的内容 -

		東(a)	南(b)	西(c)	北(d)
	用途地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
	基準値	40dB	40dB	40dB	40dB
≞л	定常騒音の騒音レベル(合成値)	39.6 dB	35.2 dB	28.9 dB	25.8 dB
設置者	評価	0	0	0	0
世	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	1	_	1	_
1	評価	1	_	1	_
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
不	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	_	_	_	_

## ※基準値を超えた場合の対応等

全ての地点で規制基準を満足します。したがって、周辺住宅への著しい影響は無いものと考えております。なお、周辺住民より苦情があった場合は真摯に対応いたします。

#### (2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮 店舗から排出される生ごみ等はごくわずかです。また、ポリ袋で密閉保管の上、翌日には回収し、従業員による清掃を毎日行います。 衛生問題関係配慮 従業員により毎日清掃を行います。

#### (ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用		1日	0.279 t	0.10 t/m	2.79 m <sup>3</sup>	変更なし	0
金属製廃棄物用	9.00 m	1日	0.009 t	0.10 t/m	0.09 m <sup>*</sup>	変更なし	0
ガラス製廃棄物用	9.00 111	1日	0.008 t	0.10 t/m³	0.08 m <sup>3</sup>	変更なし	0
プラスチック製廃棄物用		1日	0.027 t	0.01 t/mੈ	2.69 m <sup>*</sup>	変更なし	0
生ごみ用	4.50 m³	1日	0.227 t	0.55 t∕m³	0.41 m	変更なし	0
その他可燃性廃棄物用	4.50 111	1日	0.073 t	0.38 t/m³	0.19 m <sup>3</sup>	変更なし	0
合計	13.50 m <sup>3</sup>	ı	_	_	6.25 m <sup>3</sup>	_	0
	保管日数の設定根拠 <b> 既存の実績に基づく</b>						
見かけ比重変更の理							
指針と異なる算定式の低	使用 変更な	,					

#### (イ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

-				
	廃棄物排出量を <b>減少</b> させる要	因	廃棄物排出量を <b>増加</b> させる要[	因
	レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし
	ダンボール不使用納品の実施	なし	食品トレーの回収箱設置	なし
	生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	なし
	廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
	脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
	その他	なし	その他	なし

## ※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・搬入時に発生する梱包材は、搬入業者が回収するようにし、資源リサイクルに努めます。
- ・少量の商品をお買い上げのお客さまにはシールで対応する等、レジ袋の削減に努めます。
- ・店舗から発生するダンボール、空き缶、空き瓶等は分別保管し、リサイクル業者に引き渡す計画です。
- ・『容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)』に則り、廃棄物の減量化及び資源化に努めます。

#### (工) 廃棄物保管施設の位置・構造

_		(二/先来的休日池改》正直 快追	
ſ	位	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	置	搬出作業の利便性の確保	特になし
	•	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	構	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	はし
ı	造	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	なし

無

イ 廃棄物等の運搬や処理について

一	
	特になし
	特になし
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

# (3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等  屋外広告物条例を遵守します。
	<b> 環境美化活動   ○  計画施設周辺の清掃等、街並みの美化に努めます。</b>
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討します。
	必要最小限の点灯計画とし、周辺住居に光が差し込まないよう配慮します。
敷地内の緑地計画	敷地内に約240㎡設置予定。

評価

対応				
_				
対応				
_				
県の意見案				
意見なし				